

ガス炊飯器 取扱説明書

家庭用

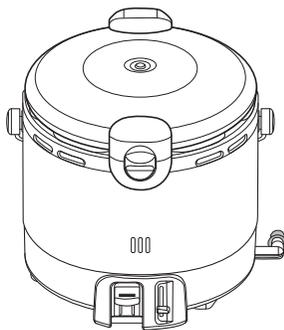
保証書付

<5合炊き>

PR-09EF

<10合炊き>

PR-18EF



このたびはガス炊飯器をお求めいただき
まして、ありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
- この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。また、この「取扱説明書」の裏表紙が「保証書」になっています。保証期間、保証内容などを確認のうえ、大切に保管しておいてください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使い方をされますと著しく寿命が縮まります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失された場合はパロマまでお問い合わせください。

特長

◎使いやすい炊飯釜

- ・炊飯釜内面は耐摩耗性フッ素加工しており、フッ素加工は3年保証です。
 - ・目盛りは明度差*が約12倍向上し、文字サイズが約1.5倍になり、見やすくなりました。（当社比）
 - ・「やわらかめ」「かため」の目盛りでお好みに合わせたごはんが炊けます。
- *背景色と白線の色の差

◎便利な機能で使いやすく

- ・ふたは指1本で開けられるワンタッチオープン機構を採用しました。
- ・本体は上部の釜部分と下部の燃焼部が離れるセパレート機能で持ち運びもラクラクです。
- ・乾電池はご家庭で使用頻度の高く、購入しやすい単3乾電池を採用しました。
- ・点火はワンタッチで簡単に点火できます。

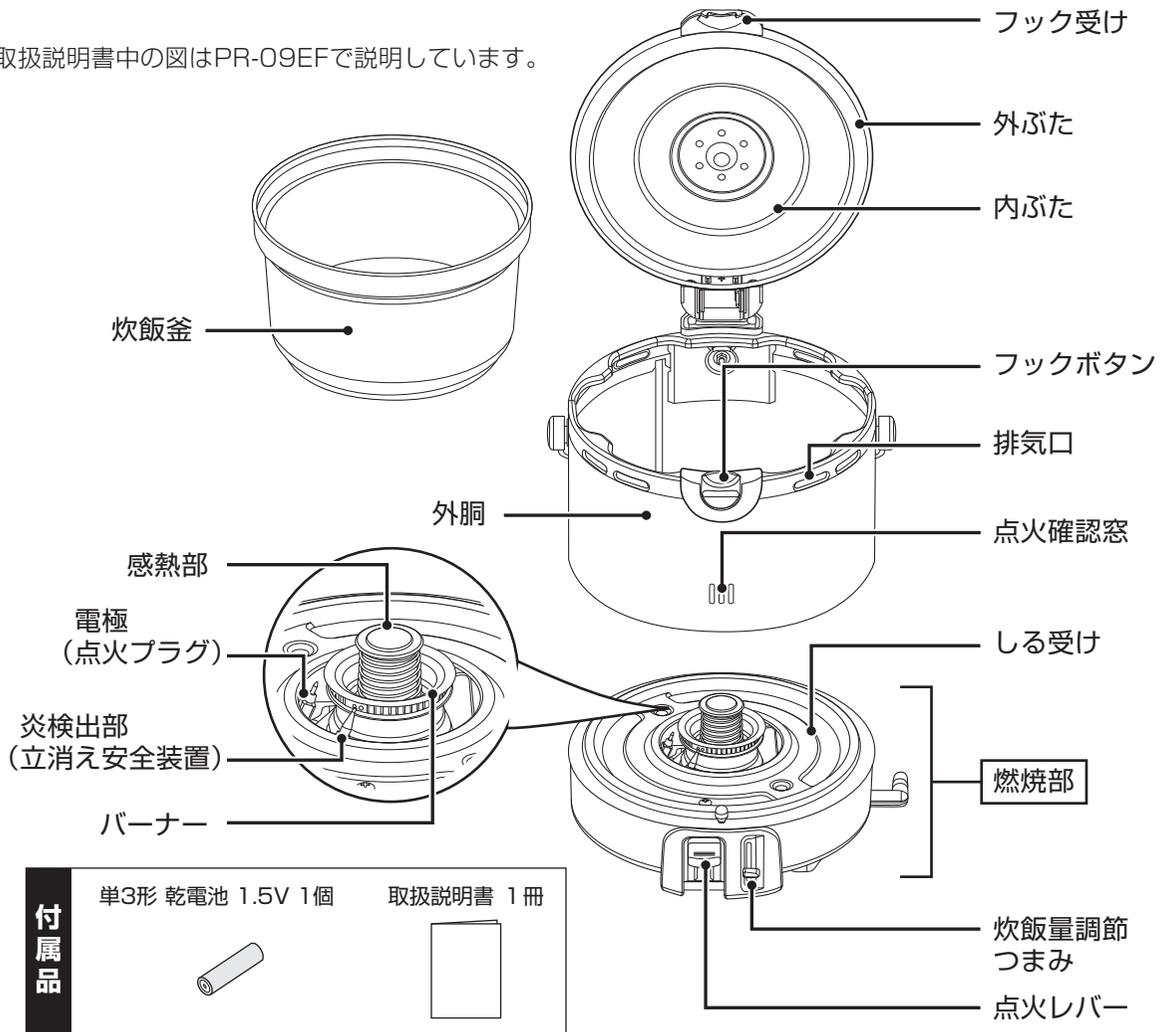
もくじ

各部のなまえ	1
安全上のご注意	2
使用時に必ずお守りください	
設置について	6
機器の設置	8
乾電池の取り付けかた	10
炊飯の準備	11
炊飯のしかた	13
点検とお手入れ	15
故障かな?と思ったら	19
保管とアフターサービス	21
仕様	22
保証書	裏表紙

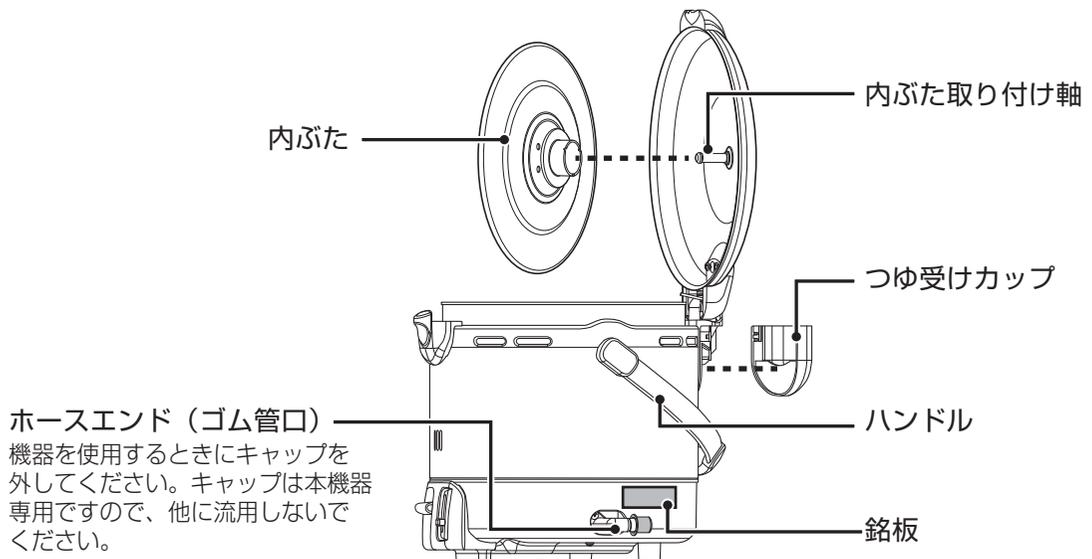
Paloma

各部のなまえ

取扱説明書中の図はPR-09EFで説明しています。



横から見た図



安全上のご注意 (使用時に必ずお守りください)

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために必ずお守りいただきたいことを次のように説明しています。

以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について次のような意味があります。

				この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
禁止	火気禁止	分解禁止	接触禁止	
		この絵表示は必ず行っていただきたい「強制」の内容です。		
必ず行う	換気必要			

危険


火気禁止

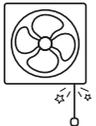
ガス漏れに気づいたときは…

- ガス事業者の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけない
- 電気器具（換気扇その他）のスイッチの入 / 切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺で電話を使用しない

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。


火気禁止



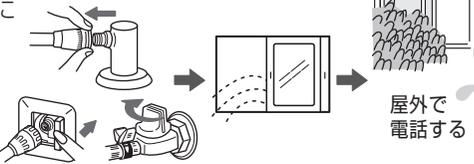



必ず行う

■すぐに使用を中止する

- ①すぐに使用をやめ、消火し、ガス栓を閉める。
また、メーターのガス栓も閉める。
(つまみのないガス栓の場合はガス栓から接続具を外す。)
- ②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
- ③お近くのガス事業者（供給業者）に連絡する。


必ず行う



屋外で電話する

安全上のご注意（使用時に必ずお守りください）

警告



禁止

■機器の上や周囲には可燃物や引火物を置かない、近づけない
また、引火物を使用しない

炊飯器の近くには…

■燃えやすいもの、爆発のおそれのあるものを置かない

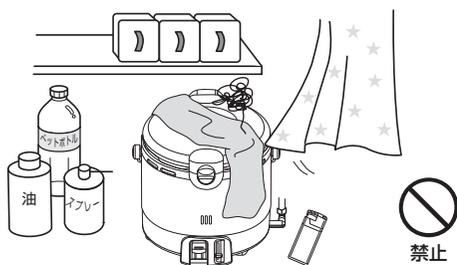
ふきんやタオル、ペットボトル、調理油、ライターなどは火災の原因になります。また、スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどは、熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。

■引火のおそれのあるものを使用しない

スプレー、ガソリン、ベンジンなどは、引火して火災のおそれがあります。

■可燃物を置かない

機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。また、電源コードを通さないでください。火災の原因になります。



禁止

■炊飯中、排気口の上にタオルやふきんなどをかぶせない

不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災、機器焼損の原因になります。



禁止

■使用中、使用直後は機器を持ち運ばない

火がついたまま持ち運ばないでください。火災、やけどの原因になります。



禁止

■火をつけたまま就寝、外出をしない

火災の原因になります。



必ず行う

■点火・消火の確認

●点火時は、火がついたことを確認する

●消火時は、点火レバーを「止」の位置に戻し、火が消えたことを確認してガス栓を閉める

消し忘れによる火災の原因になります。



必ず行う

■異常時・緊急時の処置

①点火しない場合、または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用中で消火した場合、地震、火災など緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉める。（つまみのないガス栓の場合はガス栓から接続具を外す。）

②「故障かな?と思ったら」（☞19・20ページ）に従い処置する。

③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止し、お買い上げの販売店かパロマまで連絡する。



必ず行う

■当社の純正部品を使用する

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。それ以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。



禁止

■カセットボンベなどを接続して使用しない

カセットボンベなどは調整器（レギュレーター）を使用してもガス圧が不安定なため、不完全燃焼による一酸化炭素中毒や思わぬ事故の原因になります。

警告

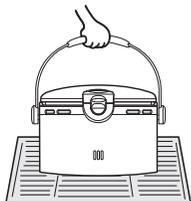


禁止

- 炊飯直後、本体部分を取り外し、移動させて使用する場合は、不安定な場所や、ビニールクロス、畳などの上に直接置かない

炊飯釜の底部が高温になっているため、ビニールクロスや畳が溶けたり、焦げて火災の原因になります。耐熱性のある平らな場所に置いて使用してください。

また、燃焼部の底部に手を触れないでください。高温になっているため、やけどのおそれがあります。



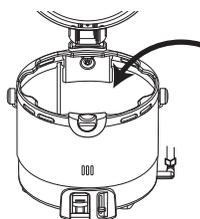
禁止



必ず行う

- 炊飯釜をセットするときに、燃焼部にしゃもじやスプーンなどの異物がないことを確認する

異常燃焼や火災の原因になります。



異物がないことを確認



必ず行う

注意



換気必要

- 閉めきった部屋で使用しない
- 使用中は窓を開けるか換気扇を回す

不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。

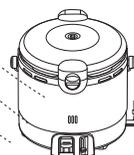
*ただし、屋内設置（密閉式は除く）の給湯器やふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと給湯器やふろがまの排気ガスが屋内に流れ込むことがあります。



禁止

- 窓から吹き込む風や冷暖房機器の風、扇風機の風などを機器にあてない

安心・安全機能が正しく働かず機器焼損や作動不良の原因になります。



禁止



禁止

- 幼いお子さまだけで触らせない
- 手の届くところで使用しない

やけどやけがなど思わぬ事故の原因になります。



禁止

- この機器の点火装置以外の方法（ライターなど）では点火しない

やけどをするおそれがあります。

注意



禁止

- 炊飯以外の用途には使わない

過熱・異常燃焼による機器焼損や火災の原因になります。

※こんろとして使用しないでください。



禁止

- 機器を水につけたり、水をかけたりしない

不完全燃焼・故障のおそれがあります。

安全上のご注意 (使用時に必ずお守りください)

⚠ 注意



接触禁止

- 使用中や使用直後は点火レバー・炊飯量調節つまみ・ハンドル以外は触らない
やけどのおそれがあります。
※特に小さなお子さまがいる家庭では注意してください。



禁止

- 点火操作時に点火確認窓に目を近づけない
熱や炎でやけどをするおそれがあります。

- 使用中や使用直後に排気口に手や顔を近づけない
また、炊飯直後にふたを開けるときの蒸気に注意する

高温の蒸気や排気熱が出ているため、やけどをするおそれがあります。



禁止



必ず行う

- 感熱部はいつもきれいにする

感熱部が汚れていたり、炊飯釜の間に異物があるとセンサーが正常に働かないことがあります。



必ず行う



必ず行う

機器の点検・お手入れするときは…

- 機器が冷めていることを確認する

炊飯後は高温のため、触るとやけどのおそれがあります。

- ガス栓を閉める

誤って点火した場合にやけどのおそれがあります。

- 必ず手袋をして行う

- 各部品の突起物などに注意する

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。



必ず行う

- 点火操作をしても点火しない場合は点火レバーを「止」の位置に戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする

すぐに点火操作をすると周囲のガスに点火して衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。



必ず行う

- ふたを開閉するときや、炊飯釜をセットするときは指をはさまないように注意する



禁止

- 感熱部に強いショックやキズを与えない

感熱部が故障する原因となります。

おねがい

- この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

- 燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

- 初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。

安全上のご注意 (設置について)

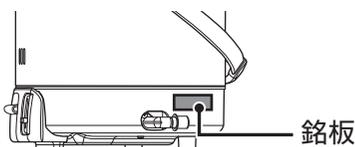
警告



禁止

■機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）以外のガスでは使用しない

- 供給ガスと表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火ややけどをしたり、機器が故障する場合があります。
 - 特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。
- * 銘板は機器右側後方側面に貼ってあります。供給ガスの種類がわからない場合、または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）までご連絡ください。



<都市ガス用の場合>



[例] 18・02 - 123456
製造年月 (2018年2月) 製造番号



禁止

ガス用ゴム管（ソフトコード）は

■継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない

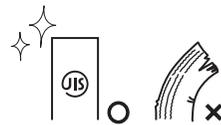
ガス漏れの原因になります。ガス用ゴム管は2m以下で使用してください。



禁止

■ひび割れたり、古くなったガス用ゴム管は使用しない

ガス漏れの原因になります。ときどき点検して古くなった場合は取り替えてください。



必ず行う

■検査合格マーク、またはJISマークの入っているものを使用する

ガス用ゴム管、ガスコード以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。ビニール管は絶対に使用しないでください。

■ホースエンド（ゴム管口）の赤い線まで差し込んでゴム管止めでしっかりと止める

しっかり止めないとガス漏れの原因になります。



必ず行う



分解禁止

■絶対に改造・分解は行わない

不完全燃焼による一酸化炭素中毒やガス漏れなどの思わぬ事故や故障、火災の原因になります。



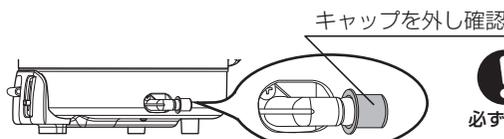
分解禁止



必ず行う

■ホースエンド（ゴム管口）のキャップを外し、汚れやゴミがないことを確認する

ガス漏れの原因になります。



必ず行う

安全上のご注意 (設置について)

警告



必ず行う

ガスコードは

- スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って正しく接続する

「機器の設置」の「ガスコード接続の場合」(P.9ページ)を参照してください。間違った接続はガス漏れの原因になります。



必ず行う

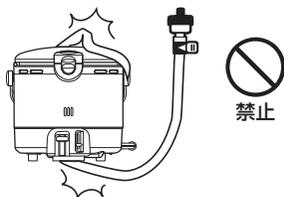


禁止

ガス用ゴム管 (ソフトコード)、ガスコードは

- 機器の上や下を通さない
- 高温部に触れさせない
- 他の機器で過熱されるような所に通さない
- 折ったり、ねじったり、引っ張ったりしない

使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れの原因になります。



禁止

注意



禁止

- 強い風が吹き込むところに設置しない

点火不良や途中消火、機器内部の損傷などの原因になります。

- 落下物の危険があるところに設置しない

機器の上に落ちたものが燃えて、火災の原因になります。

- 照明器具などの樹脂製品の下に設置しない

照明器具のかさなどが変形・変色することがあります。

- 車両・船舶には設置しない

使用中に機器が傾いたりして、火災ややけどのおそれがあります。

- 湯沸器の下に設置しない

湯沸器の不完全燃焼防止装置が作動し火がつかない場合があります。また湯沸器の故障や寿命を縮める原因となります。



必ず行う

- 水平で安定した台の上に設置する

機器が傾いていると、火災ややけどの原因になります。

- 換気が良いところに設置する

換気が不十分の場合、一酸化炭素中毒の原因になります。

機器の設置

準備と確認をする

箱から機器を取り出し、あて紙や梱包部材やテープを取り除いてください。

- 手袋をし、機器底部にしっかり手をかけ、持ち上げてください。
- ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示してあるガス種が合っているか確認してください。
合っていない場合は設置をやめ、お買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）までご連絡ください。

設置場所を確認する（周囲の防火措置）

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。

* 防火措置は各地の火災予防条例に従って行ってください。

警告

下記の条件を満たしている場所をお選びください。

* 設置後に、機器の周囲の改装（吊り戸棚をつけるなど）を行う場合も設置基準をお守りください。



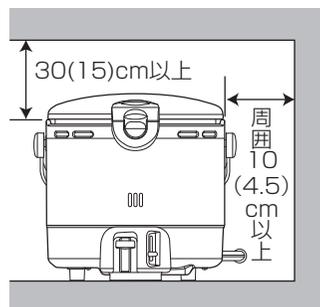
必ず行う

■ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた場合でも、下記①、②の防火措置を必ず行う

伝熱により長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがあります。

①可燃物（壁、棚など）から十分離して設置する

周囲の可燃物より10cm以上、上方は30cm以上離します。



②①の条件を満たせない場合は、防熱板Bを取り付ける

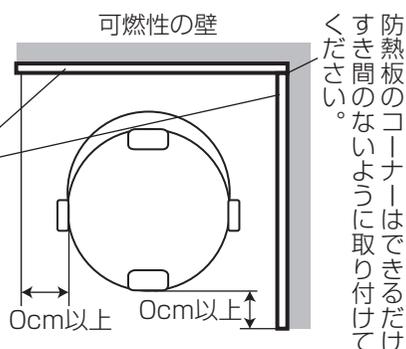
別売の防熱板Bを図のように取り付けてください。

(☞ 22ページ)

※防熱板Bの取り付け方法は壁にネジ止めです。

※防熱板Bを取り付けた場合は()内の寸法に従ってください。

防熱板B



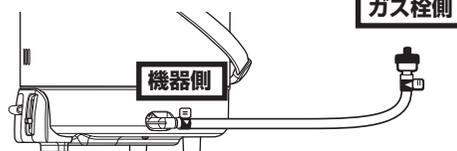
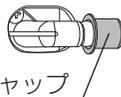
品名	高さ	幅
防熱板B(側面用)	340mm	500mm

機器の設置

ガス接続をする

キャップを外して接続します。
キャップは本機器専用ですので、
他に流用しないでください。

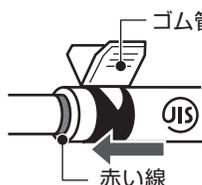
ホースエンドキャップ



ゴム管接続の場合

用意するもの

- φ9.5mmガス用ゴム管（JISマーク入り・新品）1本（市販品）
（都市ガス用とLPガス用があります。
お使いのガスに合わせてお選びください。）
- ゴム管止め2個（市販品）



- ①ガス用ゴム管を高温になる部分に触れないように適切な長さに切る。
- ②機器側のホースエンド（ゴム管口）のキャップを外す。
- ③ガス栓側・機器側両方のホースエンド（ゴム管口）の赤い線までガス用ゴム管を差し込みゴム管止めで止める。
- ④ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確認し、ガス栓を閉める。

ガスコード接続の場合

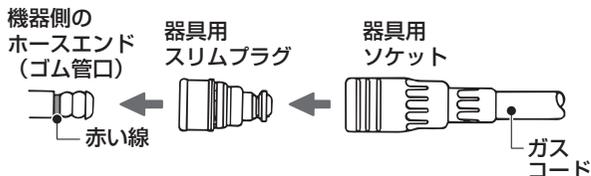
用意するもの

- 器具用スリムプラグ（市販品）
- ガスコード（市販品）

※ガスコードを接続する場合は、ガス栓側がコンセント接続口になっていないと接続できません。従来のホースエンド接続口（ゴム管口）で使用する場合は、市販のガス栓用プラグが必要です。

機器側の接続

- ①機器側のホースエンド（ゴム管口）のキャップを外す。
- ②器具用スリムプラグを機器のホースエンド（ゴム管口）の赤い線までしっかり差し込み取り付ける。
- ③次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに“カチッ”と音がするまで差し込む。
（器具用スリムプラグに同梱してある取扱説明書に従ってください。）



ガス栓側の接続

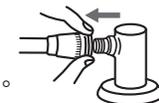
■ガス栓を開ける

コンセント継手を“カチッ”と音がするまで確実に差し込む。



■ガス栓を閉める

コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く。



コンセント継手を差し込むとガス栓が開き、外れるとガス栓が閉まります。

※ガス栓が、ガステーブル用であることを確認してください。

ガスコンセントについて

ガスコンセントは、ガスコードなどを取り付けると自動的に開栓し、取り外すと自動的に閉栓します。

■フタを開ける

フタの右端を押す。



■取り付ける

“カチッ”と音がするまで差し込む。



■取り外す

右端にあるフタを押す。

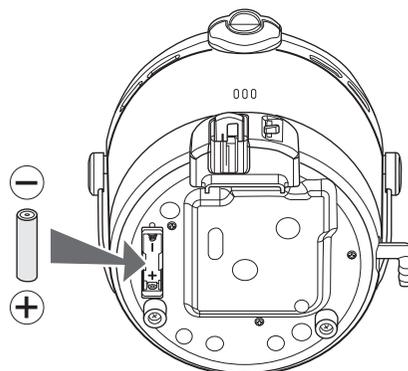


乾電池の取り付けかた

付属の乾電池を電池ケースに入れます。

交換するときは単3形乾電池（1.5V 1個）と交換してください。

機器の底面にある電池ケースに ⊕ ⊖ の向きを間違えないように取り付けてください。



おねがい

- 電池ケースに水などの異物が入った場合は、乾電池の接触不良の原因となるため、ふき取ってきれいにしてください。また、乾電池の ⊕・⊖ 端子が油で汚れると作動不良の原因となることがあります。
- 乾電池の挿入方向を間違えないでください。
- 乾電池は古い乾電池を使用せず、必ず新品の単3形乾電池（1.5V）を使用してください。乾電池の交換の目安は約1年です。
- 未使用の乾電池でも「使用推奨期限（月一年）」を過ぎている場合は、自己放電により短期間で使用できなくなることがあります。また、付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電により寿命が短くなっている場合があります。
- 乾電池のサイズを単3形サイズにする電池スペーサーは電池ケースの ⊖ 端子が接触せず使用できない場合があります。また、使用できた場合でも交換時期が極端に短くなります。
- 充電式の乾電池をご使用になると寿命が短い場合や、使用できない場合があります。
- 機器を廃棄する場合は、乾電池を外してください。ショートや発熱、液漏れ、破裂によりけがややけどの原因になります。
- 乾電池に記載してある注意事項をよく読み、正しく使用してください。
- 乾電池は充電・分解・加熱したり、火の中に投入しないでください。乾電池が破裂し、手や衣服などを汚すだけでなく、目などに入ると大変危険です。

炊飯の準備

1 お米の量を正確にはかる

お手持ちの計量カップで炊飯したい
お米の量を正確にはかる

【例】
180mLの計量カップ
すり切り1杯でお米1合です。



2 お米をとぐ

たっぷりの水で、ごみ・ぬかなどを洗いながら、素早くとぎあげる

- ボールなどにお米を入れてといでください。炊飯釜で直接お米をとぐと、内面のフッ素樹脂加工を傷める原因となります。
 - はじめにたっぷりの水を加えてさっとかき混ぜ、すぐに水を捨ててください。ぬかを含んだとき水をお米が吸わないようにするためです。
 - 「とぐ→洗い流す」を素早く数回繰り返してください。
- ※お米のとぎが足りない場合は、におい、着色、ふきこぼれ、焦げの原因になります。
- 一度水に浸したお米は砕けやすく、長く洗米すると砕け米が多くなります。また、力を入れ過ぎるとお米が砕けやすくなります。
 - 砕け米・粉米などが混じったまま炊飯すると風味を損ね、早切れ、炊きむら、着色などの原因となります。

3 水加減をする

炊飯釜を水平な台の上に置いてお米を平らにならし、炊飯釜の内側にある水位目盛りで合わせてください。

- 目盛りは目安ですので、お好みに合わせて水加減してください。やわらかめ、かために炊きたい場合は右側の目盛りを目安に加減してください。
- 新米・古米・無洗米、またはかため・やわらかめなどのお好みによって水の量を加減してください。



おねがい

表示以外の炊飯量で炊飯はしないでください。ふきこぼれたり、炊きむらの原因になります。

- お米をおいしく炊くために、しばらく水に浸しておきます。
- 水加減後、右記の表を参考に30分以上水に浸してください。浸し時間が短いとおいしく炊けないことがあります。
- 洗米後すぐに炊飯する場合は、目盛りより多めに水加減することをおすすめします。

お米の種類	季節	
	春～夏	秋～冬
白米	30分以上	60分以上
胚芽精米・輸入米・古米	60分以上	90分以上
無洗米	「無洗米メーカーの炊きかた」に従う	

*ただし、14時間以上浸しておくとお米の変質の原因となります。

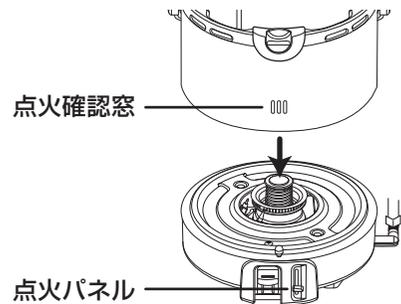
無洗米を炊くときのコツ

- 米粉が多く水のにごりがひどい場合にはお米の表面の米粉を洗い流してください。米粉が底にたまると生炊けの原因になります。
- 水を加えらるとお米の表面に気泡ができて、水が吸収されにくくごはんが硬くなります。一度洗い流すか、よくかき混ぜて気泡を飛ばしてください。
- 1~2度米をすすいで、水のごりを少なくしてから炊飯することをおすすめします。水にごったまま炊飯すると炊飯不良になることがあります。
- 浸漬時間のめやすは夏：30分、冬：60分です。
- 水の量を多めにしてください。詳しくは「無洗米メーカーの炊きかた」に従ってください。

4

外胴を燃焼部にのせる

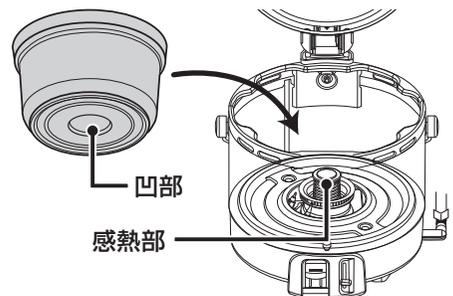
- 外胴は点火確認窓が、正面の点火パネルの上になるようにのせます。
- 外胴が正しくのっていないと、点火操作ができなかったり、早切れしたり、焦げる原因となります。



5

炊飯釜を外胴に入れる

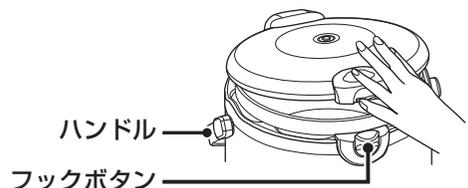
- 外胴の中（燃焼部）にしゃもじやスプーンなどの異物がないことを確認し、炊飯釜底部の凹部と感熱部がしっかり接触するように置きます。
- 炊飯釜の底部や外側、外胴の内側についた米粒・水は必ずふき取ってから取り付けてください。



6

外ぶたを閉める

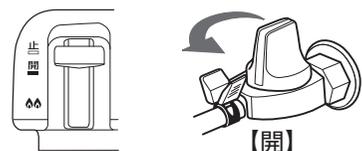
- フック受けを静かに押さえ込み、ふたを閉めます。
- “カツン”と音がして閉まります。
- 必ずハンドルは倒しておいてください。
- フックボタンを指で押さえると外ぶたが開きます。



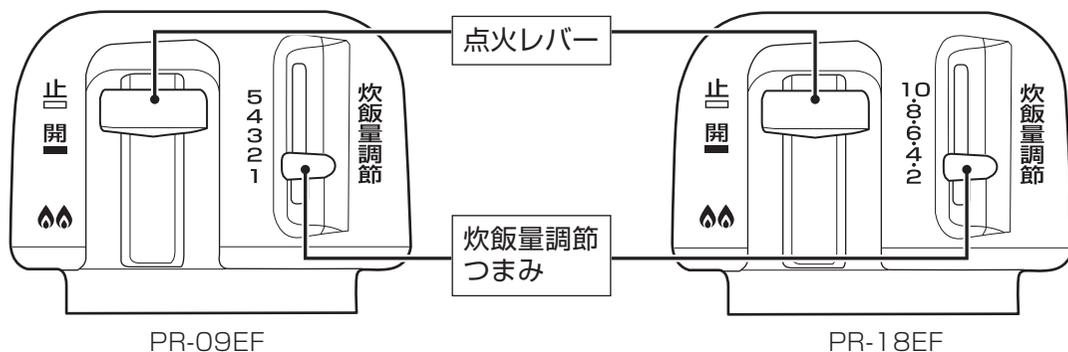
7

ガス栓を開ける

点火レバーが「止」の位置にあることを確認し、ガス栓を開けてください。



炊飯のしかた

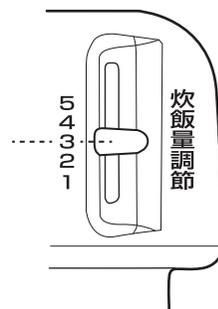


1

炊飯量調節つまみを合わせる

炊飯量と同じ「合数」に炊飯量調節つまみを合わせてください。

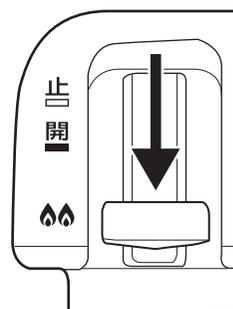
- 目盛りは目安です。お好みにより微調整してください。
- やわらかく炊くときなど、お好みにより水を多くする場合は、炊飯量よりも多めの目盛りに合わせてください。炊飯時間が長くなることがあります。



2

点火する

- ①点火レバーをいっぱいまで押し下げ、そのまま数秒間保持してください。
パチパチと音がして点火します。
- ②手を離しても点火していることを確認してください。
使用中もときどき燃焼を確認してください。



⚠ 注意



必ず行う

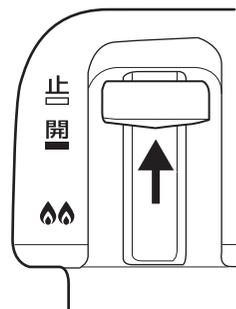
■点火しないときは、点火レバーを「止」の位置まで戻した後、いったん炊飯釜を外してガスを逃がす
その後、炊飯釜をセットし直し、改めて点火操作を行う
ガスを逃がさないと異常点火ややけどの原因になります。

3

消火する

①炊きあがると、自動的に点火レバーが「止」の位置に戻り、消火します。

- ふたを開けないで、約15分むらしてください。
- むらしが終わったら、ベタついたり、固まったりするのを防ぐため、必ず早めにごはん全体をほぐしてください。



②消火を確認後、必ずガス栓を閉めてください。

燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。



警告



禁止

■炊飯直後、本体部分を取り外し、移動させて使用する場合は、不安定な場所や、ビニールクロス、畳などの上に直接置かない

炊飯釜の底部が高温になっているため、ビニールクロスや畳が溶けたり、焦げて火災の原因になります。
耐熱性のある平らな場所に置いて使用してください。

点検とお手入れ

- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
- ご使用上支障がない場合でも、安心してより長くご使用いただくために年に1回程度の定期点検をおすすめします。(有料)

⚠ 注意



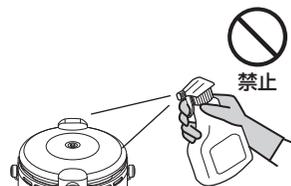
禁止

■ 機器を水につけたり、水をかけたりしない

不完全燃焼・故障のおそれがあります。

■ スプレー式の洗剤はスプレーで直接洗剤を機器にかけない

機器内部に洗剤が入ると、部品の作動不良や、腐食の原因になり、安全性を損なう可能性があります。使用する場合はスポンジや布に含ませてから使用してください。



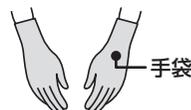
禁止



必ず行う

■ 点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。



必ず行う

おねがい

- 点検とお手入れは機器が冷め、ガス栓を閉め、乾電池を取り外し、手袋をしてから行ってください。(機器が冷めるまで時間がかかります。)
- 故障、または破損したと思われる場合は使用しないでください。
- 取り外した部品は落とさないように注意してください。けがや破損の原因になります。
- 工具を使用しての分解は絶対にしないでください。
- 「故障かな?と思ったら」(☞19・20ページ)を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店かパロマにご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。

点検のポイント

点検は常時行ってください。

機器の周囲に可燃物などはありませんか？	機器の周囲に可燃物や障害物がないようにしてください。☞3ページ
各部品は正しく取り付けられていますか？	内ぶたや炊飯釜が正しく取り付けられているか確認してください。☞12・18ページ
汚れていませんか？	ふきこぼれなどで機器が汚れているときはお手入れしてください。☞17ページ
ガス用ゴム管は正しく接続されていますか？ 古くなっていませんか？	赤い線までしっかり差し込み、ゴム管止めで止めてください。☞6・9ページ 古くなるとひび割れしたり、差し込み口がゆるくなります。早めに取り替えてください。☞6ページ
ガス臭くありませんか？	ガス栓を開け、ゴム管の接続部からガスの臭いがしないことを確認してください。
乾電池は消耗していませんか？	点火レバーを押してください。点火しにくくなったときは新しい単3形乾電池(1.5V)と交換してください。☞10ページ

お手入れの道具・使用する洗剤について

お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

洗剤は台所用中性洗剤を薄めて使い、お手入れの最後には必ず水ぶきし、乾いた布でふき取り、水気や洗剤を残さないようにしてください。炊飯器のお手入れには、使用に適さない道具や洗剤があります。

○ 適しているもの



台所用
中性洗剤



やわらかい
スポンジ



歯ブラシ



やわらかい布

× 適さないもの



スポンジの
硬い面



ナイロン
たわし



メラミンフォーム
スポンジ



硬い
ブラシ



たわし
金属たわし



シンナー
ベンジン
アルコール



酸性洗剤
アルカリ性洗剤
漂白剤



弱酸性洗剤
弱アルカリ性洗剤



クレンザー
クリームクレンザー



みがき粉



歯みがき粉



重曹

直接かけて使用してはいけないもの

スプレー式洗剤

→洗剤が機器内部に入ると電子部品などに付着して、作動不良や腐食など機器故障の原因になります。



絶対に使用してはいけないもの

可燃性スプレー 浸透液・潤滑剤

→引火して火災の原因になります。



- シンナー・ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤などは、損傷・はがれ・表面の変質・変形・さび・割れの原因になります。
- 印刷・塗装面には、みがき粉、たわしなど硬いものを使用すると表面を傷つける場合があります。
- スプレー式洗剤を使用する場合は、直接ふきかけるのではなくスポンジなどに含ませてから使用してください。

おねがい

- 汚れやふきこぼれはそのつどお手入れしてください。そのままにしておくと、汚れが落ちにくくなり早く傷みます。
- 道具や洗剤を目立たない部分で試してから、使用してください。
- 食器洗い乾燥機で洗う場合、専用洗剤・食器洗い乾燥機の取扱説明書もよく読み、お手入れで使える洗剤か確認してください。食器洗い乾燥機で洗うと変色したりツヤがなくなったりする場合があります。

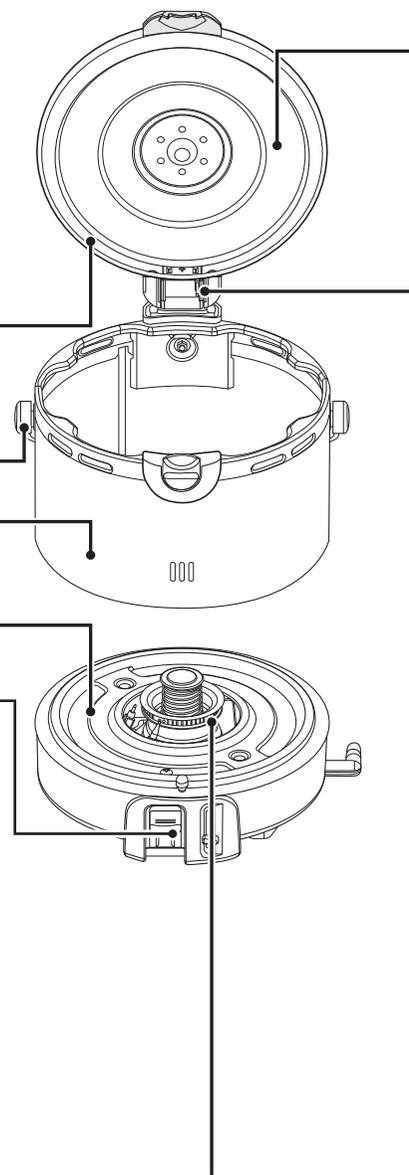
点検とお手入れ

- 外ぶた
- ハンドル
- 外胴
- しる受け
- 操作部（炊飯量調節つまみ・点火レバー）

水気をしぼった布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とした後、洗剤分をふき取り、空ぶきをする

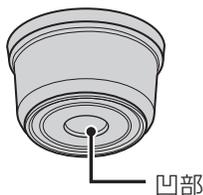
おねがい

燃焼部内を水でぬらさないでください。



■炊飯釜

使用後は台所用中性洗剤で、米粒・おねばなどを洗い落とし、乾いた布で水気をふき取る



- 特に混ぜご飯などの後のお手入れや水切りは、十分行ってください。
- 凹部の汚れはふき取ってください。凹部が汚れていると感熱部との接触が悪くなり、センサーが正常にはたらかないことがあります。

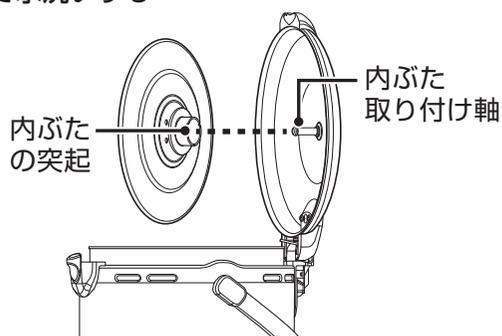
■フッ素樹脂加工釜について

- しゃもじはプラスチック製または木製のものを使用し、炊飯釜を洗うときはやわらかいスポンジをお使いください。（スチールウール、たわし、みがき粉などは使用しないでください。）
- 炊飯釜の中で食器や野菜などを洗わないでください。
- 酢などの酸の強いものを使用しないでください。
- 使っているうちにピンホール（針先程度の穴）やはく離が発生しても当初はフッ素樹脂の性能には変わりありません。しかし、著しくはく離が進行して使用に不便をきたすようなときは、新しい炊飯釜をお買い求めください。

■内ぶた

外ぶたより取り外し、台所用中性洗剤で水洗いする

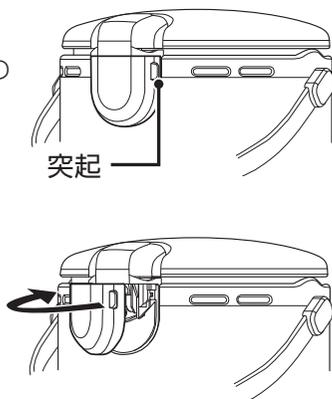
- 取り外すときは、内ぶたを持って、もう一方の手で外ぶたを支え、手前に引くようにして取り外してください。
- 取り付けるときは、内ぶたの突起を外ぶたの「内ぶた取り付け軸」に差し込んで取り付けてください。



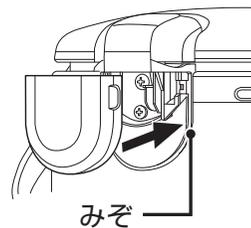
■つゆ受けカップ

つゆ受けカップにたまったつゆはその都度捨て、台所用中性洗剤で水洗いした後、乾いた布で水気をふき取る

- 取り外すときは、つゆ受けカップの突起に指をかけ、(左方向へ)回転させながら取り外してください。



- 取り付けるときは、みぞを合わせ奥まで差し込んでください。



■感熱部

感熱部の頭部

感熱部の頭部が汚れたときは、感熱部に片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取ってください。

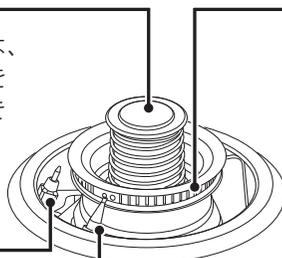
電極 (点火プラグ) 炎検出部 (立消え安全装置)

汚れや水分がついたときは、取り付け位置を動かさないように注意して、やわらかい布でふき取ってください。

※汚れや水分がついていると、点火しにくくなります。

バーナー炎口

バーナーが詰まっているときや、汚れのひどいときは、電極・炎検出部の取り付け位置を動かさないように注意して、バーナーをブラシで掃除してください。



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。

ご質問	原因	処置方法	参照ページ
<p>点火しない/ 点火しにくい/ 使用中に消火する</p>	<p>ガス栓の開きが不十分だったり、閉めていると点火できません。</p>	<p>ガス栓をいったん閉めてから全開にしてください。</p>	12
	<p>乾電池が消耗している場合は点火しません。</p>	<p>新品の単3形乾電池と交換してください。買い置きの乾電池は自己放電により寿命が短くなっている場合があります。</p>	10
	<p>乾電池の取り付けが悪いと点火しない場合があります。</p>	<p>⊕ ⊖ の向きに注意し、正しく取り付けてください。</p>	10
	<p>ゴム管内に空気が残っていると点火しない場合があります。 (朝一番や長期間使用しなかった場合など)</p>	<p>点火操作を繰り返してください。</p>	5・13
	<p>ゴム管が折れ曲がったり、つぶれたり、接続が不十分であると点火しない場合があります。</p>	<p>ゴム管の折れ曲がり、つぶれを直し、正しく接続してください。</p>	6・7 9
	<p>点火レバーが押し不足であると点火しない場合があります。</p>	<p>点火レバーをいっぱいまで押し下げ、数秒間押し続けてください。</p>	13
	<p>炊飯釜と感熱部が正常に接触していないと点火しない場合があります。</p>	<p>炊飯釜と感熱部の間に異物がないことを確認し、正しく置いてください。</p>	4・12
	<p>LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけていると点火しない場合があります。</p>	<p>ボンベの交換をお近くのガス事業者に依頼してください。</p>	—
	<p>ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断しています。</p>	<p>お近くのガス事業者へ連絡してください。</p>	—
	<p>バーナー炎口が水滴や汚れにより目詰まりしていると点火しない場合があります。</p>	<p>バーナー炎口を歯ブラシなどでお手入れし、水滴がないように乾いた布でしっかりふいてください。</p>	18
<p>電極や炎検出部がぬれたり、汚れたりしていると点火しない場合があります。</p>	<p>電極・炎検出部をお手入れし、水滴がないようにやわらかい布でしっかりふいてください。</p>	18	
<p>黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える</p>	<p>バーナー炎口が水滴や汚れにより目詰まりしていると正常に燃焼しない場合があります。</p>	<p>バーナー炎口を歯ブラシなどでお手入れし、洗剤や水滴がないように乾いた布でしっかりふいてください。</p>	18

ご質問	原因	処置方法	参照ページ
炊飯不良 自動消火しない 早切れする ふきこぼれが多い ごはんが焦げる 炊きむらがある ごはんがふやける	機器が傾いていると炊飯不良の原因になります。	水平で安定した台の上に設置してください。	7
	炊飯釜と感熱部が正常に接触していないと炊飯不良の原因になります。	炊飯釜と感熱部の間に異物がないことを確認し、正しく置いてください。炊飯釜の底部と感熱部はお手入れし、汚れをふき取ってください。	4・12
	内ぶた・外ぶたがしっかり閉まっていないと炊飯不良の原因になります。	内ぶたをしっかりと取り付け、外ぶたを確実に閉めてください。	12・18
	お米の量や、水加減が不適切な場合、うまく炊けません。	「炊飯の準備」に従い正しく準備してください。	11・12
	むらしをしていないとうまく炊けない原因になります。	炊き上がり後、約15分むらしてください。	14
	洗米後、お米を浸さない、または浸し時間が不適切な場合、うまく炊けない原因になります。	「炊飯の準備」に従い洗米後はお米を適切な時間浸してください。	11
	割れ米や砕け米、お米にぬかが残っていると、炊飯不良の原因になります。	「炊飯の準備」に従い正しく洗米してください。	11
	炊飯後、ごはんをほぐしていないとうまく炊けない原因になります。	炊飯後は、ごはんをよくほぐして水分を飛ばしてください。	14
点火・消火のときに「ジー」「ポッ」という音がする	点火・消火時に「ジー」「ポッ」という音がする場合があります。ガスに着火する際や、ガスが燃え尽きる際に発生する音で異常ではありません。	—	
使用中「シャー」という音がする	燃焼中のガスの通過音です。異常ではありません。万が一ガス臭い場合は使用を中止し、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。	—	

■立消え安全装置が作動したとき

風やふきこぼれなどで炎が消えたとき、自動的にガスを止める装置です。

消火に気付いたときは、点火レバーを「止」の位置に戻してください。

再点火するときは、周囲にガスがなくなるのを待ってから点火操作してください。

保管とアフターサービス

保管（長期間使わないとき）について

- ①ガス栓を開め、ゴム管（ガスコード）を外してください。
（つまみのないガスコンセント接続の場合はガスコンセントからソケットを外す）
- ②ゴミ・ほこりが入らないようにビニールやテープなどでホースエンド（ゴム管口）をふさいでください。
- ③乾電池を取り外しておいてください。
- ④お手入れしておくとし次回使用するとき便利です。☎ 17・18ページ

アフターサービスについて

点検・修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」（☎ 19・20ページ）を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

- ①品名・器具名（銘板表示のもの）
☎ 6ページ
- ②現象（できるだけ詳しく）
- ③ご購入日・ガス種
- ④ご住所・お名前・電話番号
- ⑤ご訪問希望日

修理についての お問い合わせは	パロマサービスコールセンター 0120-193-860	受付時間：24時間修理受付
--------------------	---------------------------------------	---------------

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についての お問い合わせは	パロマお客様相談室 052-824-5145	受付時間：平日 8：30～18：00 （土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）
	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	

*住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承ください。

ガスの種類が変わるとき

転居などによりガスの種類が変わるときは、ガス機器の調整が必要となりますので、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は当製品製造打ち切り後、6年間保有しております。

保証について

保証期間はお買い上げの日から、機器本体は1年間、炊飯釜内面のフッ素樹脂加工は3年間です。

お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社はお客様よりお知らせいただいた、お客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報をサービス活動および、安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。
- 当社はお客様の個人情報を、下記の場合を除いて第三者へ開示・提供いたしません。
 - ・修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合
 - ・法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合
 - ・その他の正当な理由がある場合
- 当社はお客様の個人情報を適切に管理します。

お客様にて取り替え可能な消耗部品・別売部品のご購入について

お客様にて取り替え可能な消耗部品・別売部品は当社の純正部品以外は使用しないでください。ご購入は、お買い上げの販売店かパロマサービスセンター、またはパロマホームページ内公式部品販売サイト「パロマ+プラス」 (<https://www.paloma-plus.jp/>)にてお買い求めください。お買い求めの際は、必ず銘板に記載してある器具名をお知らせください。商品の発送には別途送料がかかります。

部品名	希望小売価格 (税抜価格)	部品名	希望小売価格 (税抜価格)
釜 (PR-09EF用)	¥4,000	内ぶた (PR-09EF用)	¥800
釜 (PR-18EF用)	¥4,900	内ぶた (PR-18EF用)	¥1,000
防熱板B	¥3,500		

※2018年7月現在の価格です。価格・仕様については変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

※防熱板は「機器の設置」を見て、取り付けかたを確認してください。詳細はお買い上げの販売店かパロマまでおたずねください。

パロマの部品販売サイト

パロマ+プラス



パロマ製品の消耗部品・別売部品をインターネット販売サイトよりご購入いただけます。

<https://www.paloma-plus.jp/>

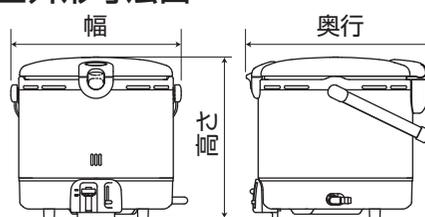
仕様

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

品名	PR-09EF	PR-18EF
器具名	PR-09EF	PR-18EF
型式名	H-9-1	H-9-2
種類	ガス炊飯器	
点火方式	連続放電点火	
外形寸法 (高さ×幅×奥行)	237×256×279	282×300×322
質量 (本体)	3.0kg	4.3kg
炊飯量	最小	0.18リットル (1合)
	最大	0.9リットル (5合)
ガス接続	φ9.5mmガス用ゴム管	
安心・安全機能	立消え安全装置	
付属品	単3形 乾電池 1.5V×1個・取扱説明書	

使用ガスグループ		ガス消費量 kW	
		PR-09EF	PR-18EF
都市ガス用	12A	0.978	1.77
	13A	1.05	1.90
LPガス用		1.16	1.90

■外形寸法図



保証書

品名	ガス炊飯器 PR-09EF / PR-18EF
----	-----------------------------------

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置・使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《 無料修理規定 》

1. 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置・使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証期間はお買い上げの日から、機器本体は1年間、炊飯釜内面のフッ素樹脂加工は3年間です。炊飯釜の3年保証は内面のフッ素樹脂加工のみです。内面のフッ素樹脂加工以外は機器本体と同じ保証期間です。（免責事項については6.(チ)を参照ください。）
4. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、パロマへご相談ください。
6. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輛、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
 - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
 - (ト) 本書の提示がない場合
 - (チ) 以下の場合による炊飯釜フッ素樹脂加工のふくれ・はがれなど
 - ・炊飯釜でお米をといた場合。
 - ・炊飯釜の中で酢などの酸の強いものを使用した場合。
 - ・炊込みごはんなど調味料を使った状態で長時間放置したり、保温した場合。
 - ・ごはんのこびりつきを無理にはがした場合。
 - ・金属製のおたま、スプーン、泡立て器や食器など硬いものを入れて使用した場合。
 - ・台所用中性洗剤以外の洗剤や漂白剤を使用した場合。
 - ・クレンザーなどの研磨効果の高い洗剤、金属たわしや硬いスポンジで洗った場合。
 - ・食器洗い乾燥機でお手入れした場合。
 - ・使用開始後に落下などの取扱不注意で変形した場合。
 - ・その他、取扱説明書で禁止している使いかたをした場合。

7. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
8. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前 様	お買い上げ日	年 月 日	
	ご住所 〒			
販売店	お電話	保証期間	機器本体	お買い上げ日から1年間
	店名		炊飯釜内面 フッ素 樹脂加工	お買い上げ日から3年間
	住所			
	電話番号			

株式会社 **パロマ**

〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145



修理記録

年月日	修理内容	サービス員④

*この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かパロマにお問い合わせください。
 *保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。



02955810003

NI ③ 02 95581